コースコード：EL-GX-ISSS
税込価格：220,000円 (税抜価格：200,000円)
日数：30日間

コース概要

本講座は、情報処理安全確保支援士試験合格に必要なポイント学べる講座です。
2025年度版の情報処理安全確保支援士対策テキストを使用し、動画で試験のポイントの解説と、実際の過去問の紹介と解答方法の解説を行います。
受講期間中、何度でも動画の視聴が可能です。

＜情報処理安全確保支援士とは？＞
情報処理安全確保支援士は、経済産業省所管の情報処理推進機構(IPA)が実施する情報処理技術者試験の1つで、サイバーセキュリティに関する日本で唯一の国家資格*です。(　*所定の登録手続きが必要です)

ここに注目

本講座は解説動画で「解くための考え方・手順」を学べるのが最大の強みです。
受講期間中は動画を何度でも繰り返し視聴できるため、苦手分野や過去問の解説箇所は納得がいくまで復習し、解答テクニックをしっかり身につけることができます。

＜講師＞
情報処理安全確保支援士・CISSPを保有する樂満俊幸が講師を担当します。
IPA、経済産業省等のセキュリティ人材関連の委員を務めた経験があり、情報処理安全確保支援士 実践講習の講師やISC2公式インストラクター(2007年～)、EC-Council認定インストラクター(2019年～)として豊富な指導実績をもちます。
制度・試験の本質を押さえた講義で、合格に向けた確かな理解を支援します。

ワンポイントアドバイス

受講対象者

・情報処理安全確保支援士試験（午後試験）の合格を目指す方
・ネットワークやサーバ、Webの運用・開発、情報システム部門などでセキュリティに携わる方
※午前Ⅰ試験の対策は含まれないため、必要に応じて自己学習が必要です。

前提条件

必須資格はございません。
・ネットワーク・サーバ・Webの基礎知識
・応用情報技術者試験レベルのIT知識

下記のコースを受講済み、または同等の知識を有する方

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

試験合格のために理解が必要なポイントを身に付け、過去問を自力で解き進められる状態になります。
以下は、学習する項目の一部抜粋です。
・脆弱性評価指標
・暗号技術
・ネットワークへの攻撃
・IDS/IPS
・VPN
・ISMS

アウトライン

【物理テキストの構成】
1. セキュリティ基礎知識
2. 組織や利用者への攻撃と対策
3. ネットワークセキュリティ
4. サーバセキュリティ
5. セキュアプログラミングの事例
6. セキュリティの事例
7. 午後問題演習編

【動画でのポイントの解説、および、実際の過去問の解説】
0. はじめに
1. 脆弱性評価指標
2. 脆弱性評価指標
3. 暗号技術
4. ハッシュ関数、メッセージ認証、電子署名
5. PKI
6. SSL/TLS
7. 認証
8. 認可
9. 不正アクセス
10. パスワードへの攻撃
11. ネットワークへの攻撃
12. 無線LAN
13. ファイアウォール
14. IDS/IPS
15. VPN
16. Web
17. DNS
18. メール

19. ISMS
20. さいごに